研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-131		17-082	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Prevalence of binge drinking during pregnancy by country and World Health Organization region: Systematic review and meta-analysis.

国別および世界保健機関地域別の妊娠中の多量飲酒の割合

執筆者

Lange S, Probst C, Rehm J, Popova S.

掲載誌

Reprod Toxicol. 2017 Oct;73:214-221. doi: 10.1016/j.reprotox.2017.08.004.

キーワード	PMID
多量飲酒、妊娠、罹患率、地域	28838867

要　旨

目的：

国別および世界保健機関（WHO）地域別に、妊娠中の多量飲酒の割合を初めて推定した。

方法：

複数の電子書誌データベースを用いて、論文審査のある専門誌か学術雑誌に掲載された定量的な研究で、各国の一般住民における妊娠中多量飲酒割合が自己申告により報告された研究を検索した（1984 年 1 月～2014 年 6 月）。さらに、対象が一般化できない研究、非飲酒者を除外した研究、複数の研究を集めて妊娠中多量飲酒割合を推定した研究を除外した 58 件を抽出し、20 か国の妊娠中多量飲酒率を得た。まず、2 件以上の実証研究を行う国に対し国別ランダム効果メタアナリシスを行った。他国に対しては、各国の指標を利用した multilevel fractional response regression model から割合を予測し地域平均を推定した。そして、各国の妊娠中に飲酒した女性に対する多量飲酒（1 回当たり 4drinks 以上の飲酒）した女性の割合を推定した。

結果：

13 か国のメタアナリシスおよび他の 139 か国の推定により妊娠中の多量飲酒率を推定した。妊娠中の多量飲酒率の高い 5 か国は、パラグアイ（13.9%; 95%信頼区間［CI]: 1.8-8.9%）、モルドバ（10.6%; 95%CI: 6.6-14.5%）、アイルランド（10.5%; 95%CI: 3.3-7.6%）、リトアニア（10.5%; 95%CI: 6.6-14.5%）、チェコ共和国（9.4%; 95%CI: 5.8-12.9%)で、低い 5 か国は、ブルネイダルサラーム（0.2%; 95%CI: 0.1-0.3%）、シンガポール（0.2%; 95%CI: 0.1-0.2%）、ルクセンブルク（0.3%; 95%CI: 0.2-0.4%）、イタリア（0.7%; 95%CI: 0.4-1.1%）、大韓民国（0.8%; 95%CI: 0.4-1.1%）であった。WHO6 地域中 4 地域（アフリカ地域、ヨーロッパ地域、米州地域、西太平洋地域）の推定値を算出したところ、妊娠中の多量飲酒率が最も低い地域はアフリカ地域（3.1%, 95%CI: 0.1-6.1%）、最も高いのは西太平洋地域（1.8%, 95%Ci: 0.0-3.5%）であった。

結論：

飲酒する妊婦の大多数が飲酒パターンで最も有害である多量飲酒を行っていた。